

第5章 環境を思い行動する人づくり

第1節 学校における環境教育の促進

1 学校における環境教育・学習

(1) 里山里海湖学校教育プログラム集

【自然環境課】

里山里海湖について小中学校教員が、児童生徒を指導するためのプログラムを現場の先生方の意見を踏まえながら作成しました。

平成25年度には、小学校高学年対象の道徳読み物資料として、自然からの恵みに気づき、自然環境を守っていくために役立つとする心情を養う「じいちゃんからの宿題」（5年生用）と、人間の力を越えた悠久の大自然の営みに感動する心情を養う「世界の標準時計となった水月湖の『年縞』」（6年生用）の2種類を作成し、県内全小学校に配布しました。

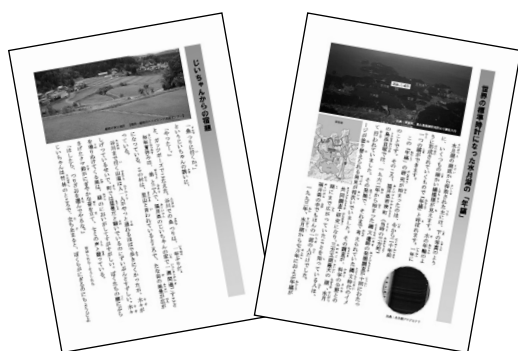
併せて、里山里海湖研究所のホームページ上に、指導案や授業に役立つ資料も掲載しています。

また、平成26年度は、身近な里山里海湖を体験することにより保全の意識を高め、自主的な活動を促せるよう「三方五湖周辺体験活動プログラム」を作成し、県内全ての小中学校に配布することとしています。これにより、小中学校の教員が、「里山里海湖とは何か」、「里山里海湖でどんな活動ができるのか」を知ることができる手引書としての活用が期待されています。

なお、今後、さらに系統だてた環境学習を行うため、学校における年間指導計画の中に環境教育を位置付けていけるよう検討していきます。

表5-1-1 道徳読み物資料配布部数

配布部数	児童用	教師用
小学校5年生用	7,325部	520部
小学校6年生用	7,608部	529部
合計	14,933部	1,049部



道徳読み物資料

(2) 環境・エネルギー教育支援事業

【義務教育課・高校教育課】

県内の小中学校を対象に、地域の特色に応じた実践を通して、児童生徒の理解を深め、自ら考え、判断し、より良く環境・エネルギー問題を解決する力を育成することをねらいとした「環境・エネルギー教育支援事業」を推進しています。

平成24年度は、中学校理科に放射線等に関する内容が、30年ぶりに復活したことを受け、放射線教育等の充実のため、簡易霧箱や放射線測定器等を購入し、授業を行いました。

また、平成25年度は、ソーラー発電や風力発電を学習する教材などを活用した環境・エネルギー教育を進めました。

高等学校では、平成26年度、県立高等学校全11校を対象に、学校の特色に応じた環境・エネルギー教育の取組みを支援する「環境・エネルギー教育支援事業」を実施しました。

今後も、各校の取組みを県内全体に広め、環境・エネルギー教育の一層の普及に努めていきます。

※事業対象 平成24年度：小中学校
平成25年度：小中学校
平成26年度：県立高等学校

表5-1-2 環境・エネルギー教育支援事業取組状況

	24年度	25年度	26年度
	小中学校	小中学校	高等学校
環境・エネルギー教育に関連する施設等の見学	0校	2校	6校
講師による講演や意見交換会での指導および助言	5校	0校	6校
エネルギー教育に関する資料・機材の活用方法の研究	84校	89校	10校